

学校法人 物療学園  
平成 24 年度 事業計画

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

**学校法人物療学園 平成 24 年度事業計画**  
**(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)**

1. はじめに

近年の私立大学を取り巻く環境は依然として大変厳しい状況にある。多くの大学で経営悪化が続き、最近では学生募集を停止する大学も増えてきている。

高度情報化、国際化が進展する中で、大学には社会を支える最高水準の教育・研究拠点の形成や大学教育の質保障に向けた制度の構築が求められている。

この様な環境の中、本学は開学 2 年目を迎え、社会の要請に応える私立大学の地位を確立し、安定した経営を継続していく必要がある。

平成 24 年度の事業計画については、この様な状況を踏まえ、以下の事業に取り組みより良い大学の構築を目指し、各事業を推進していくものとする。

2. 学校法人の沿革

- 昭和 8 年 勅令私立学校令により「物療学院」を設立
- 昭和 9 年 校名を「大阪物療学校」と改称
- 昭和 26 年 診療エックス線技師法の公布に伴い校名を「大阪物療専門学校」と改称
- 昭和 28 年 診療エックス線技師養成学校として厚生大臣の指定を受ける
- 昭和 46 年 診療放射線技師養成学校として厚生大臣の指定を受ける
- 昭和 52 年 専修学校としての許可を受ける  
医療専門課程の設置を許可される
- 昭和 53 年 学制を昼間部 2 年制から 3 年制に、夜間部 2.5 年制から 3.5 年制に変更  
併せて、第一・第二本科を第一放射線科、第二放射線科に改称
- 昭和 60 年 学校法人「物療学園」の認可を大阪府より許可され  
学校法人「物療学園」設置の「大阪物療専門学校」となる
- 昭和 63 年 第二放射線科(夜間部)の学制を 3.5 年制から 4 年制に変更
- 平成 6 年 専門士(医療専門課程)の称号授与開始
- 平成 14 年 第一理学療法学科、第二理学療法学科、第一作業療法学科、第二作業療法学科  
を開講  
第一放射線科、第二放射線科を第一放射線学科、第二放射線学科に改称
- 平成 20 年 第二放射線学科、第二作業療法学科の募集停止
- 平成 21 年 第二理学療法学科の募集停止
- 平成 22 年 第一理学療法学科、第一作業療法学科定員の募集停止
- 平成 22 年 学校法人組織変更認可、大阪物療大学設置認可(10 月 29 日)
- 平成 23 年 大阪物療大学 開学 保健医療学部診療放射線技術学科  
大阪物療専門学校第一放射線学科募集停止

### 3. 法人の概要

#### (1) 理事長

田中博司

#### (2) 理事・監事・評議員数

単位:名

	理事	監事	評議員
定数	6	2	13
現員(平成24年4月現在)	6	2	13

#### (3) 設置する学校

学校	学科	修業年限	入学定員	収容定員	備考
大阪物療 大 学	保健医療学部 診療放射線技術学科	4年	80名	320名	平成23年度開学
大阪物療 専門学校	第一放射線学科	3年	50名	150名	平成23年度入学生 募集停止
	第一理学療法学科	3年	40名	120名	平成22年度入学生 募集停止

### 4. 大阪物療大学の概要

#### (1) 学長

田中 博司

#### (2) 学生の状況

##### 1) 平成24年度在学生数

単位:名

保健医療学部	24年度		
	学年	定員	在籍数
診療放射線技術学科	1年	80	85
	2年	80	81
	合計	160	166

#### (3) 教職員の状況(平成24年4月)

1) 専任教員数:18名

2) 専任職員数:8名

### 5. 大阪物療専門学校の概要

(1) 校長

遠藤 忠保

(2) 学生の状況

1) 平成24年度在籍学生数

単位:名

学科	学年	定員	在籍数
第一放射線学科	3年	50	47
第一理学療法学科	3年	40	25

(3) 教職員の状況(平成24年4月)

1) 専任教員数:7名

2) 専任職員数:2名

6. 平成24年度の主な事業計画

(1) 大阪物療大学

1) 本学の特性を生かした少人数担任制を導入し、きめ細かい教育を実践する。

又、学内実習についても少人数指導体制により専門職業人の育成に努める。

2) 入学前教育の延長で、課外での教育を充実させ学力の向上を計る。

3) 教職員一体化による教育を実践する為、委員会組織の充実と、実務にあった事務組織の細分化を行い、連携を強固のものとする。

4) 自己点検・評価体制を有効に機能させ将来に向けた改善、改革を行い安定した大学運用を遂行する。

【事業運営部門】

(総務グループ)

物療学園規程に基づく業務の遂行と管理運営を行うにあたり、必要に応じて諸規程の見直しを行い、整備を図ることにより、業務を円滑に進捗させる。

(経理グループ)

事業計画及び予算に見合った支出がなされているか確認し、計画的かつ適正な予算執行を行い、業務を遂行する。

(施設・管財グループ)

機器・備品を確認しながら適正に配置し、完成年度までに必要な備品の見直しを行う。

【学生支援部門】

(教務グループ)

・学生の教育・研究に関するカリキュラムの遂行その他の教育研究活動を支援する。

・授業内容の改善を図るための組織的な取組みを支援する。

(学事グループ)

学生の課外活動、福利厚生など学生のキャンパスアメニティの向上に努める。また、学生の指導や福利・厚生業務を行う。

(入試グループ)

本学のアドミッションポリシーに相応しい入学生を確保するために、入試制度の策定を行う。

## 【就職・渉外部門】

(就職グループ)

医療人としての資質の涵養、社会人としてのマナー、コンプライアンスを習得するために、病院見学や、ボランティア活動への積極的な参加を促すキャリア支援対策を行う。

(渉外グループ)

大学の使命である社会貢献の一環として、市民公開講座を年 2 回開催する。本学の所在地である堺市の中学校への出前授業を行うことにより地域への大学の知的還元を図る。学園 OB や関連団体との連携を図り生涯学習を支援する。

(広報グループ)

優秀な学生を確保するための受験生募集の一環として、継続的な高校訪問及びオープンキャンパス、入試説明会を開催する。また、大学新聞(物療新聞)の定期発刊と高大連携情報交換会等に参加することにより、本学を広く周知させ受験生確保に努める。

## 【学術情報部門】

(図書グループ)

教育、研究、学習のための利用環境の快適化、機能化を推進する。利用者のニーズに対応した図書館サービスに努める。

(情報グループ)

- ・情報発信のための HP の保守管理を行う。
- ・ネットワーク、セキュリティ対策を中心に学内情報機器の保守管理を行う。
- ・情報リテラシー教育を円滑に行うための保守管理を行う。
- ・e-learning 等の遠隔教育への取り組みを検討する。
- ・教員の研究および研究実績等について積極的な情報公開を行う。
- ・学内無線 LAN 講習会を開催する。
- ・学園 80 周年記念誌発刊の準備を行う。

## (2) 大阪物療専門学校

- ・大阪物療専門学校 79 年間の有終の美を飾るために、専門学校在校生が全員卒業し、国家試験に合格できるように、各人の学力向上、臨床実習対策、国家試験対策等の木目細やかな教育・指導を行う。
  - ・在校生の全員卒業を想定し、閉校式を予定し企画・立案する。
- 以上